

も、誰も見ている者がない。授業時間だけが教育の場ではない。休み時間も先生が共に遊び、又話し合いをする時間として子供の中に入り、一方では親しみを増し、又一方では子供をよく観察する機会にしてほしいと思う。低学年は教科中心でなく、もっと生活中心の教育であつてよいと思う。

(⑤) 子供を退屈させない様に。

小学校へ行つたら／＼とあこがれを持つて張り切つていた子供達が、四月の初め「つまらないやあ——」と、よくうたえて来る。型の如く坐らせられて授業を受ける。少し積極的に出れば叱られる。絵を書くのも小さい／＼紙、粘土も片手に一にぎりしか渡されない。これでは今までのび／＼と生

活して来た幼児は退くつてしまふ。或時はもつと大きな絵を書かせててもよいのではないか。大きな粘土で協同製作をしても、それが教科につながりを持つて出来る筈である。子供の持つている力を充分に出し切れる様な機会を与えてほしいものと思う。

(⑥) カリキュラムを一貫したものに。

前の連絡をもつという事にも、子供を退屈させないという事にも関連して行くが、併設園のある所では、幼稚園と小学校一、二年とが一貫したカリキュラムを作つてやる様にしたらば非常によいと思う。そうする事によつて其の間に溝もなくなり、子供が急に生活様式がかわつて苦勞する事もなくなる

ると思う。然し、これにはまだ／＼色々研究しなければならない点も多々あると思うが、今後是非実行されたいものと思う。

(番町幼稚園長)



卒園児を受持たれる 親愛なる小学校の先生へ

天 方 て い 子

三学期になりますと私は、お弁当の後とか何かの折にふれぼんやり考え込み、ハッと我にかかる事があります。何を考えたのかとぶりかえりますと「この子も又去つて行く」と形容の出来ない、淋しさの思いにふけつていたのであります。雑祭の行事も済み、ほつと一息つく頭になりますと涙さえこぼれて来ます。そして残る幾日かを自分に出来得る限りの能力を絞り出して、子供の喜ぶ楽しい行事をプランに盛りこみ、名残を惜しむのであります。

お話は云うに及ばず、幻燈に人形芝居、影絵、さては先生演出による演劇、園内の放送設備を利用してほんもののプロデューサー顔負けの園内放送。歌あり、音楽あり、物語りあり

もうこの頃になりますと、問題児も何もあつたものであります。どの子もこの子も、嬉しくて／＼たまらないように、毎朝いそ／＼と登園して来ます。喜びに溢れる姿とはこの様な場合の形容詞だと思われますが、これには小学校に行けるもうすぐ一年生になれる、という大きな期待も忘れずに先生が吹き込んでおるのです。子供にしましても、今日はカバンを、明日は教科書をと、その方が喜びの方が嬉しさの大半をしめてるのかも知れません。

とにかく卒業前の子供といいましたら、喜びと期待と抱負の塊のようです。是非一度その姿を御覧下さいませんか。何故ならば、その塊りを、がつちり受取つて下さるのが、先生貴方です。小学校の先生です。

× × × ×

そしてもの十日もた／＼ないうちに入学です。学校生活の開幕は入学式から始まります。私も式に参列させていたゞきますが、校長先生の挨拶、あれやこれやの祝辞、三十分も過ぎた頃からざわ／＼ざわついて来ます。男の先生がうろうろ廻り初めます。こちら辺りから何か申上げたいような気が起つて来ますのです。学者の詳しい発表はまだ聞いてませんがこの六歳児の身心の発達段階からは、何分位規立静止の状態が保てますのでしょうか。

× × ×

にぎ／＼しく式も終り、担任の先生につれられて教室に入ります。席について先生のお話「みなさんは幼稚園に行つたので、行儀も大変よく出来ている事と思ってましたが、今日の講堂の行儀はどうでした？」もう学校ですから、皆さんは講堂では行儀をよくする事、勿論教室でもですこれを守つて下さいね。よろしいか、では明日は国語の本と筆箱を持って来なさい」と、第一声です。所がこの所を幼稚園の先生に云わして下さるならこうです。「今日のおじさん方のお話を難しかつたね、先生も体がだるかつたけど、みんなもだるかつたでしょ。だけどあのおぢさん方は、皆なのお祝を云つて下さったのよ、一年生になつてお目出とうつてね。皆一年生になれてよかつたね。で明日から一年生の勉強をしましょう。だから一人でも本を忘れるとなつたが困るから、だれも忘れないように、国語の本をもつて来ましょね。皆なで色々な事を勉強しましょ」と、この物の云い方の違い。前の云い方、これは小学校でやつておられる直接に子供に注文する普通の導き方で、後の云い方、これは幼稚園でしている廻り道をして正しい方向にまわりの方からし向ける間接的な導き方で、幼稚園を出て二週間もた／＼ないうちに、この導き方が交りましたら、子供は多方面くらいます事でしょ。私はそのつなぎめを知らず／＼のうちに子供を動搖さす事なく、間接から直接へとスムーズに切りかえて行つて下さいませと、

何はともあれ申上げたいのです。幼稚園の先生は、気長でまだるゝこくて甘ったるいようと、学校の先生の思われます

のは、この教育の指導法に大きな差のある事に御気附下さいましたら思います。

× × × ×

やがて一ヶ月も経ちました頃、小学校との連絡会が持たれました。去年のこと色々な話し合いの中で「幼稚園から来た子の五十人のうちすぐ字の読めた子が三九人で、残りの子が全々読めない。それが困りものなんです」と云われました。が、その時は、よもや幼稚園で字や数を教えて準備する所と考えておられない事と思いまして、聞きのがして済ませましたが、この意味での準備教育は致しておりません。子供が字の読みますのはわざ／＼教えたからでなく、三学期になりますとお正月の遊びを主題としまして、カルタ取りや郵便ごっこなどで、文字に対する関心やら興味がおこり、覚えたいくと思う子が覚えるのです。この様な事は解りきつた事なのです。が、ついこの頃若い先生が「字を教えなくてもよろしいか」と不思議な事を聞かれ、その様な気持になつた原因は昨年先生のおっしゃられた「残りの字の読めないのが困る」とのあれでしたので申上げてみました。幼稚園では幼児の心身を順調に成長させる為に、その時期でなければ身につける事の出来ない教育内容をねらいとして、適当な環境と社会生

活の中で保育するのが幼稚園なのです。

× × × ×

所でその保育内容に就きましては、幾らかでも認識のおありの先生は、ほんとうに数少いと思われます。これは私達側にも大いに反省の必要がある事ですが、先程生活をさせると申しましたが、生活の中で子供達に色々な事を計画たてゝ教育する。その色々な事とは、音楽、リズム、絵画、製作、お話し、観察、健康教育、その他を生活の中に織りこみまして、音楽や話を聞く事により美しく豊かな心を養い、音楽によってリズムを感じ、それを或は創作的に表現する事も出来るようになり、絵を描かせ、色々なものを製作し、こうして自分の心を表現する事が出来ます。社会やら自然の観察も致します。前に云いましたように、劇遊び、人形芝居、又は年中行事でたのしみも経験します。こうして知的なものも身につけますが、これだけでなく、健康安全な教育も忘れなく目標の中に狙つてあります。これ等が保育の内容です。

× × × ×

そして、これは生活しながら強制する事なく、培われ育てられますのです。この様な事について少しでも御理解下さいまして、学校の学習に取り入れ下さいましたら、通学し出して一週間もしますと、なんとなくぐんなりした感じの顔つきになりますのが防げるようになります。又先生も学習にたの

しさを盛られましたら、しんどさも解消しますのではないか。よく一年生の担任は一応誰れもが敬遠するというような事をきますが、楽しく生活しながら学習する、一年生もこうなりますと、私もつい行きたくなります。

× × × ×

それにもう一つ。この保育内容によって育み培われた所の情操的な面、この芽をくれても踏まないで、とめないで、壊さないで、伸ばしてほしいのです。丁寧な配慮でとくに心の美しさ、やさしさ、情操といった精神的なものを、大切にして来ました幼稚園のねらい、これは小学校の新入生だけではなく、ずっと統けてねらって下さいます様に。人間性のもともとあります情操面は、小学校の三年位までに育てなければもう人生に於ては育つ機会を失うとか聞きました。色々とお願ひばかりを申上げましたが。

× × × ×

うような事も耳にしました。これは私達もよそ事でなく、心に止め置く事でございますが、この様な問題は今少し慎重に考慮して欲しいのです。現在の農村、町、村、の保育所の管理運営とか職員組織、そちらに大きな問題が孕まれておると思いますが、私の申上げたいのは考え方された幼稚園の中で生活して来た子と、そうでない子との二つの姿を、大きな観点から眺めてみてどういう姿が好ましいか、就学前にどういう教育のシステムを経た子が希ましいか、すると就学前一年の教育の義務づけとか、又はよき幼稚園の数の必要な事、こういう声が一年生を受持たれた先生から上げられますとしましたならば、それはどんなにか私達に勇気と励みとをもたらして下さる事でしょう。

× × × ×

長々と申上げましたが、最後に先生も私も同じく教職にある身としまして、子供達の成長をより教育的に指導するためには、幼・小の連絡も密切に行い、連絡会も形式的におわらぬよう、その他いろいろの問題につきまして一歩一歩向上しますよう、手を取りあって進んで行きたく、このことを切に望みましてペンをおきます。失礼を致しました。

(天津幼稚園長)

§ § §

ですが、誤った音程を正しい音程に戻す事が出来ないとい